

ちば



「チーバくん」

令和8年度

専門研修（学校栄養職員）

# 研修の手引

千葉県教育委員会

## 目 次

1	実施要項	1 - 3
	〔第1・2号様式〕	4 - 5
	〔千葉県・千葉市教員等育成指標〕	6
2	研修について	7 - 10
3	〔様式1〕 個人研修テーマ報告書	11
	〔様式2〕 学習指導案（例）	12
	〔様式3〕 研修のまとめ	13

## 専門研修（学校栄養職員）実施要項

### 1 目的

この研修は、千葉県教育委員会が県内の公立（千葉市・船橋市・柏市を除く。以下同じ。）の小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校の学校栄養職員に対して、チーム学校をリードする自覚と資質能力の向上を図るとともに、現代的な課題にかかる研修から、意識の改革、視野の拡大、専門性、学校運営に参画する力を身に付けることを目的とする。

### 2 主催

千葉県教育委員会

### 3 対象者

学校栄養職員としての採用から29年目、30年目の者。

2年間の中で1年間研修に参加する。原則として研修対象者が、研修年度を選択する。ただし、この要項7に記載の者を除く。

※学校栄養職員として採用され、現在、市町村教育委員会等に勤務する者を含む。

※再任用職員として勤務するものを含む。

※千葉市、船橋市及び柏市とは、各市との確認書等に基づき研修を共同で実施するので、これらの市立学校等で該当する者も対象者とする。

### 4 研修日数及び内容等

千葉県・千葉市教員等育成指標（以下「育成指標」という）に準じて、内容を次のとおりとする。

(1) 研修は、校外研修1日と校内研修1日程度とする。

(2) 校外研修は、千葉県総合教育センターが主催する「専門研修（共通）」により実施する。

(3) 校内研修は、校外研修との関連を考慮して実施する。そのうち、1日以上は研究授業を実施することとする。研修計画や研修報告等の詳細については、「研修の手引」に記載する。

### 5 参加者の報告〔第1号様式または第2号様式〕

県立学校長、市町村教育委員会教育長は、（表1）（表2）に基づき報告する。

### 6 校外研修の旅費

県費負担職員の旅費は、予算の範囲内において、県立学校にあっては旅費システムにより執行し、市町村立学校にあっては所管の教育事務所等へ令達する。

市町村費負担学校栄養職員の旅費は、当該市町村の負担とする。

7 研修対象から除く者等について

- (1) 臨時的に任用された者
- (2) 他の任命権者が実施する専門研修（学校栄養職員）等を受けた者
- (3) 指導主事、社会教育主事等その他教育委員会において、学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有する者
- (4) その他任命権者が認めた者

8 内 容

受付 9:00～9:20

月	日	時 間	主 題・内 容	講 師・助言者	会場等
6	5 金	9:20～ 9:30	オリエンテーション ・本研修の進め方について	県総合教育センター 所員	大ホール
		9:30～ 10:20	<講話> F18 情報モラルと著作権	県総合教育センター 所員（研修企画部情報 活用支援班）	
		10:30～ 12:00	<講話・演習> A3 D13 学校におけるチームビルデ ィング	民間企業講師	
		13:20～ 14:40	<講話・対話> A1 A2 A4 新たな教育課題について～ 人材育成、業務改善、不祥事 根絶～	元公立学校長	
		14:50～ 15:50	<講話・協議> A3 新たな教育課題について～ 持続可能な社会の構築～	民間企業講師	
		15:50～ 16:10	<まとめ・連絡>	県総合教育センター 所員	

(表1) 県立学校所属者〔第1号様式〕

作成者	提出先
◆県立学校長◆	県教育庁保健体育課長
令和8年4月3日(金)まで	

(表2) 市町村立学校所属者〔第2号様式〕

作成者	提出先
◆市町村教育委員会◆	教育事務所 県教育庁保健体育課長
令和8年4月3日(金)まで	令和8年4月10日(金)まで
◆千葉市教育委員会◆	
令和8年4月10日(金)まで	

※各様式は、千葉県HPよりダウンロードしてください。

学校栄養職員

検索

(第1号様式) 県立学校長作成用

文書番号  
令和 年 月 日

教育振興部保健体育課長 様

県立〇〇〇〇〇〇学校  
校 長

令和8年度専門研修（学校栄養職員）に係る参加者について（報告）

このことについて、下記のとおり報告します。

記

職 名	ふ り が な 氏 名	採用年月日	備 考
		年 月 日	
		年 月 日	

(第2号様式) 市町村教育委員会作成用

文書番号  
令和 年 月 日

千葉県教育庁教育振興部保健体育課長 様

〇〇〇教育委員会  
教育長

令和8年度専門研修(学校栄養職員)に係る参加者について(報告)

このことについて、下記のとおり報告します。

記

番号	学校名等	職名	ふりがな 氏名	採用年月日	備考 (○で囲む)
1				年 月 日	県費負担職員 市町村費負担職員
2				年 月 日	県費負担職員 市町村費負担職員
3				年 月 日	県費負担職員 市町村費負担職員
4				年 月 日	県費負担職員 市町村費負担職員
5				年 月 日	県費負担職員 市町村費負担職員

※ 共同調理場に勤務する学校栄養職員については、「学校名等」の欄に共同調理場名を記載し、その下に所属校名を併記すること。

栄養教諭の資質向上に関する指標

< 6つの柱 >

- A 教職に必要な素養
- B 専門領域に関する資質能力
- C 生徒指導等に関する実践的指導力
- D チーム学校を支える資質能力
- E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- F ICTや情報・教育データの利活用等

< 構成要素 >

- 1 使命感 責任感 教育的愛情  
高い倫理観 コンプライアンス  
服務規律の遵守
- 2 社会性 コミュニケーション能力
- 3 社会の変化への対応 広い視野  
学び続ける意欲
- 4 教職に関する教養
- 5 教科等における食に関する指導
- 6 給食時間における食に関する指導
- 7 個別的な相談指導
- 8 栄養管理
- 9 衛生管理
- 10 子供の発達過程や特徴の理解と  
信頼関係の構築  
教育相談及び生徒指導 個別指導
- 11 人権教育の推進 生徒指導上の課題への対応
- 12 教育課程の管理・運用
- 13 校務分掌と連携・調整
- 14 家庭や地域、関係機関等との連携・協働
- 15 研修（研究）体制
- 16 特別な配慮や支援を必要とする子供の理解
- 17 学習上・生活上の支援
- 18 食に関する指導におけるICT利活用
- 19 ICTによる校務効率化

千葉県・千葉市教員等育成指標～信頼される質の高い教員等の育成を目指して～		栄養教諭の資質向上に関する指標			
六つの柱	育成要素	育成項目	ステージI 【初級】 基礎知識・専門知識の習得と実践力の向上	ステージII 【中級】 実践的指導力としての 資質を定着させるための 習得と実践力の向上	ステージIII 【上級】 専門的実践力 チーム学校をリードする 資質を定着させるための
A B C D E F	1	使命感・責任感・教育的愛情の涵養	①人間性豊かで、使命感・責任感・教育的愛情を涵養し、高い倫理観と高いコンプライアンスを有する	①高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な教員	①高い倫理観と高いコンプライアンスを有する
	2	社会性	②社会性・コミュニケーション能力の涵養	②幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	②幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	3	社会の変化への対応	③社会の変化への対応能力の涵養	③幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	③幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	4	教職に関する教養	④教職に関する教養の涵養	④幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	④幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	5	教科等における食に関する指導	⑤教科等における食に関する指導力の涵養	⑤幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑤幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	6	給食時間における食に関する指導	⑥給食時間における食に関する指導力の涵養	⑥幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑥幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	7	個別的な相談指導	⑦個別的な相談指導力の涵養	⑦幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑦幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	8	栄養管理	⑧栄養管理力の涵養	⑧幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑧幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	9	衛生管理	⑨衛生管理力の涵養	⑨幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑨幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	10	子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築	⑩子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築力の涵養	⑩幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑩幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	11	人権教育の推進	⑪人権教育の推進力の涵養	⑪幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑪幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	12	教育課程の管理・運用	⑫教育課程の管理・運用力の涵養	⑫幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑫幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	13	校務分掌と連携・調整	⑬校務分掌と連携・調整力の涵養	⑬幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑬幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	14	家庭や地域、関係機関等との連携・協働	⑭家庭や地域、関係機関等との連携・協働力の涵養	⑭幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑭幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	15	研修（研究）体制	⑮研修（研究）体制の涵養	⑮幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑮幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	16	特別な配慮や支援を必要とする子供の理解	⑯特別な配慮や支援を必要とする子供の理解力の涵養	⑯幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑯幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	17	学習上・生活上の支援	⑰学習上・生活上の支援力の涵養	⑰幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑰幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	18	食に関する指導におけるICT利活用	⑱食に関する指導におけるICT利活用力の涵養	⑱幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑱幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員
	19	ICTによる校務効率化	⑲ICTによる校務効率化力の涵養	⑲幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員	⑲幅広い教養と専門性の専門性を身に付けたい教員

[令和5年8月改訂]  
千葉県教職員研修体系

## 専門研修（学校栄養職員）について

### 1 校外研修（1日）について

- (1) 日 時 令和8年6月5日（金） 9：20～16：10  
（受付9:00～9:20 大ホール）

＊幼稚園、小学校、養護教諭の専門研修との合同実施

- (2) 場 所 千葉県総合教育センター

- (3) 内 容 ①オリエンテーション（大ホールで実施）  
②〔講話〕 「情報モラルと著作権」  
③〔講話・演習〕 「学校におけるチームビルディング」  
④〔講話・対話〕 「新たな教育課題について～人材育成・業務改善・不祥事根絶～」  
⑤〔講話・協議〕 「新たな教育課題について～持続可能な社会の構築～」

### 2 校内研修（1日以上）について

- (1) 個人研修テーマ報告書（様式1）の作成（7 に詳細）

各自で個人研修テーマを設定し、1年間継続して研修を進める。

- (2) 授業研修（1日以上）

「自己の課題」や「T・Tによる食に関する指導」のために指導案（様式2）を作成し、他の教諭等の参観を得て、「事前の協議会（45分1回）＋授業展開（45～50分1回）＋事後の協議会（45分1回）」で1日とした授業研修を行う。

- (3) 研修のまとめ（様式3）の作成（9に詳細）

### 3 T・Tによる食に関する指導の授業実践について

- (1) 個人研修テーマに沿った内容で指導案を作成する。

- (2) 所属校で指導案を検討し、11月末までに「T・Tによる食に関する指導」に係る授業を展開する。

※授業展開する教科等、内容、日程の調整・決定については、所属校の管理職、教務主任、T・Tで行う学級担任等と協議し、教育課程等を考慮して決定する。

### 4 欠席・遅刻等の報告について

- ・やむを得ず欠席する場合は、県HPから「研修の欠席について（報告）」をダウンロードし、記載されている報告方法に従って提出する。なお、当日等、急な欠席の場合は、所属長等の管理職が保健体育課へ電話等で報告し、後日提出する。
- ・遅刻早退の場合も「欠席」を「遅刻」または「早退」と読みかえて提出する。

### 5 県総合教育センターでの研修について

- ・服装は、正装を基本とする。
- ・各自、名札を持参し、着用する（所属校等で使用している名札）。

- ・駐車場には限りがあるため、できる限り公共の交通機関を利用する。

## 6 提出資料一覧

	提出資料	提出期日
(1)	個人研修テーマ報告書（様式1）	令和8年 6月19日（金） メールで提出
(2)	「T・Tによる食に関する指導」の指導案（様式2）	令和8年 12月11日（金） メールで提出
(3)	研修のまとめ（様式3）	令和9年 2月5日（金） メールで提出

〔提出先〕 千葉県教育庁教育振興部保健体育課（給食班担当者宛て）  
メール：kykyushoku@mz.pref.chiba.lg.jp

〔注意点〕 提出する前には必ず所属長等、管理職の点検を受けること。

提出するときのファイル名→【学校名】様式○（氏名）

（例）【〇〇市立◇◇小】様式1（〇〇 〇〇）

## 7 個人研修テーマ報告書（様式1）の作成について

### （1）研修テーマの設定

#### ①課題の明確化

- ・地域、学校、児童生徒の実態から課題を明確にする。

#### ②テーマ設定

- ・課題から研修テーマを設定し、研修の目標を明確にする。
- ・学校、家庭、地域との連携や協力を基盤とした取組をテーマとする。
- ・めざす児童生徒の姿を明確にする。

### （2）分野と研修テーマの例

#### 〔衛生管理〕

- ・安全な給食提供のための衛生管理について
- ・安心・安全な給食の確立を目指して ～衛生管理の基本に立ち返る～

#### 〔栄養管理・献立作成〕

- ・魅力ある献立の作成と食に関する指導の充実を目指して
- ・給食が生きた教材となる献立作成について

[食に関する指導]

- ・食への興味関心を高める取組 ～計画的な献立作成と食育～
- ・給食を教材とした食に関する指導の充実 ～生徒及び保護者向けの啓発～
- ・学校全体で取り組む食に関する指導の充実について
- ・和食献立の工夫と食に関する指導の充実を目指して

[朝食欠食率を減らす取組]

- ・朝食の大切さを伝える取組について
- ・朝食欠食ゼロをめざして ～季節による朝食欠食の変化と働きかけ～

[教科指導等との連携]

- ・よりよい食生活を送ろうとする子どもの育成について
- ・望ましい食習慣の形成を目指して ～早寝・早起き・朝ごはん～

[地産地消・地場産物の活用]

- ・地場産物を使用した献立作成の取組について
- ・和食や地場産物を利用した献立の工夫と食に関する指導の充実を目指して

[地域・家庭との連携]

- ・学校・家庭・地域と連携した食育の推進～学校栄養職員と担任の連携～

## 8 T・Tによる食に関する指導の指導案（様式2）の作成について

### (1) 目標の観点について

以下の「食育の視点」を参考に目標を設定する。

- ①食事の重要性（食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。）
- ②心身の健康（心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。）
- ③食品を選択する能力（正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。）
- ④感謝の心（食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。）
- ⑤社会性（食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。）
- ⑥食文化（各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。）

「食に関する指導の手引―第二次改訂版―（平成31年3月）文部科学省」より

### (2) その他

- ・各教科及び特別活動の時間、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間等を実施する。
- ・内容は「食に関する指導」とする。
- ・様式は、「様式2」を参考にし、所属校等の指導案の様式を使用してもよい。
- ・用紙サイズはA4とし、枚数は2～3枚程度、文字サイズは、10.5ポイント。

## 9 研修のまとめ（様式3）の作成について

### （1）作成について

#### ①地域・学校・児童生徒の実態

- ・地域の食育に係る実態
- ・学校全体の実態 学校給食の状況
- ・児童生徒の実態 児童生徒の食に係る実態

#### ②研修テーマについて

テーマを設定した理由（家庭や学校、児童生徒の実態から見える課題等）

#### ③取組について

- ・T・Tによる食に関する指導の実践についてまとめる。
- ・学校・家庭・地域と連携を図り、教科等での指導や給食の時間など教育活動の様々な場面で実践したことをまとめる。
- ・これまでの実践をまとめても、1年間の実践をまとめてもよい。

#### ④成果と課題

児童生徒や家庭、地域がどのように変容したか等をテーマに沿ってまとめ、成果と課題についてまとめる。

### （2）様式について

- ・（様式3）を使用して作成する。
- ・2～6ページ程度（写真やグラフ、表等を入れてもよい）  
※児童生徒の写真を使用する場合、個人が判別できないように加工する。
- ・2段組 20文字 35行
- ・10.5ポイント 明朝体
- ・余白 上下左右20mm

(様式1) 専門研修 (学校栄養職員)

## 個人研修テーマ報告書

学校名 ○○○立○○○学校

職 名 ○○○

氏 名 ○○ ○○

### 1 研修テーマ

※主題を簡潔にまとめて記載する。

※副題を付けても構わない。

### 2 研修内容概要

研修テーマ設定の理由

児童生徒の実態

学校や地域の実態

研修方法

研修内容・研修仮説

課題解明のための手立て

めざす児童生徒の姿 等、自由に記載してよい。

\*文字サイズは12ポイント

\*行数を増やしてもよいが、全体を1ページに収めるようにする。

\*提出するときのファイル名 → **【学校名】様式○ (氏名)**

(例) **【○○市立◇◇小】様式1 (氏名)**

(様式2) 専門研修 (学校栄養職員)

## 第○学年○組 ○○科学習指導案

○○○立○○○学校

授業日 ○月○日

指導者 T1 : ○年○組 担任 ○○ ○○

T2 : 学校栄養職員 ○○ ○○

- 1 単元名 (題材名、主題名)
- 2 単元 (題材、主題) について
  - (1) 教材 (題材) 観 (主題設定の理由)
  - (2) 児童 (生徒) の実態
  - (3) 指導観
- 3 単元 (題材) の目標
- 4 単元 (題材) の評価規準
- 5 指導計画
- 6 本時の指導
  - (1) 本時の目標
  - (2) 食育の視点
  - (3) 本時の展開 (例)

過 程	学習活動と内容	指導上の留意点 (☆評価)		資料等
		T 1	T 2	
見い だ す	1 ○○をする	○		・
	2 課題をつかむ			
(学習課題・問題)				
自 分 で 取 り 組 む			○	
広 げ 深 め る		☆		
ま と め あ げ る *表 現 自 由				
(まとめ)				

(4) 板書計画

## 研修のまとめ

[研修テーマ]

研修名 専門研修 (学校栄養職員)

学校名 ○○○立○○○学校

氏名 ○○ ○○

1 地域・学校・児童生徒の実態

3 取組について

2 研修テーマについて

4 成果と課題